SHARP®

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

ネットワーク活用編

本機をネットワーク（LAN）接続することで使用できる便利な機能を紹介します。

形 名

BD-T2500（ビー ディー ティー）
BD-T1500
BD-W1500（ビー ディー ダブル）
BD-W550
BD-W550SW（エス ダブル）
BD-S550（ビー ディー エス）

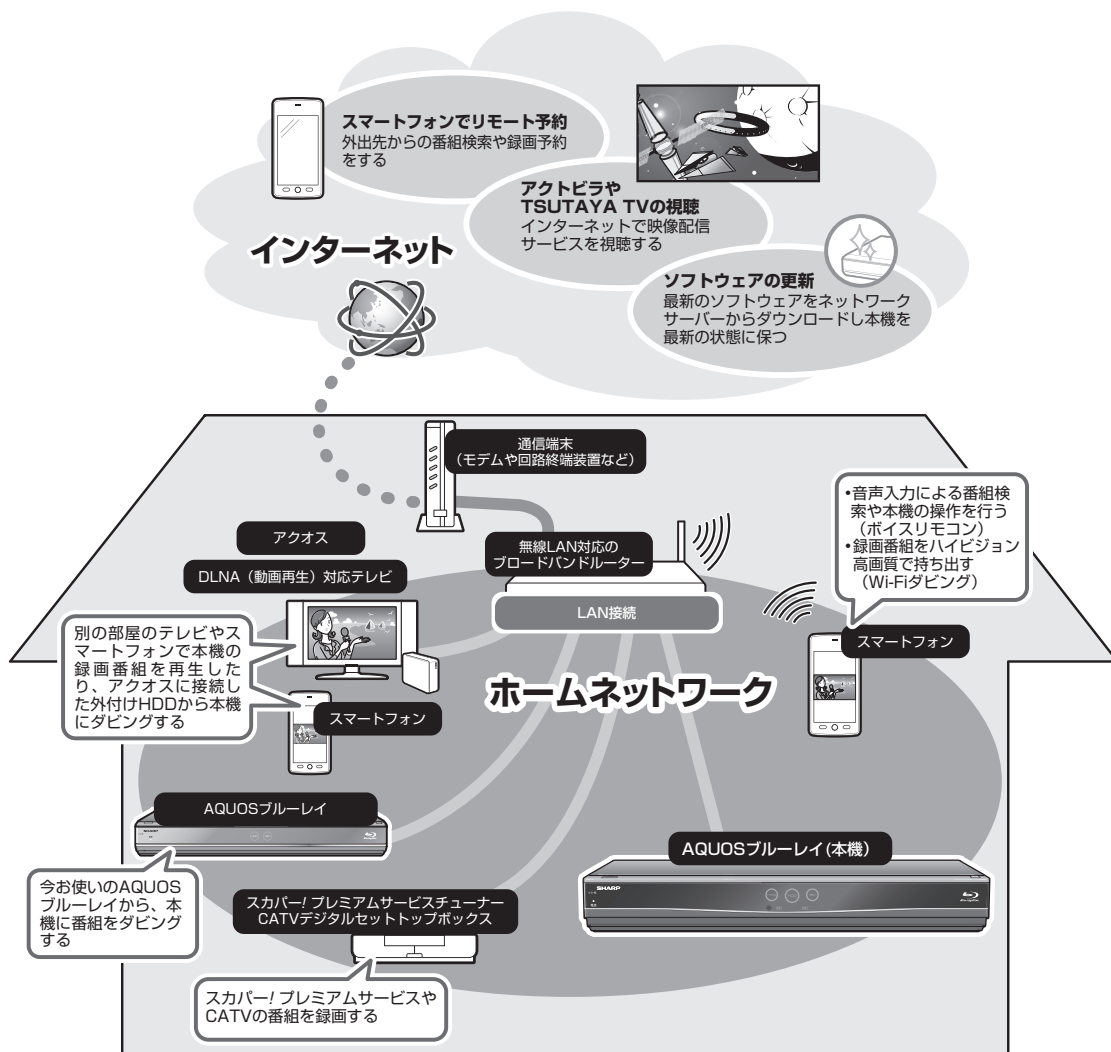
お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、商品に同梱されている取扱説明書の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- この取扱説明書「ネットワーク活用編」は、本機をネットワーク（LAN）に接続することで操作できる機能について説明しております。
- ネットワーク（LAN）の接続と設定については、商品に同梱されている取扱説明書をご覧ください。
- 本書内の機種マーク「W550」は、BD-W550 または BD-W550SW を表しています。

もくじ

ネットワーク（LAN）接続で使用できる機能について

本機をネットワーク接続することで使用できる機能を紹介します。ネットワーク接続には、本機のLAN接続とLAN設定が必要です。LAN接続については本機に同梱されている取扱説明書（→ 158ページ）、LAN設定については8ページ「ネットワーク接続の準備（LANを設定する）」をご覧ください。

ネットワーク接続で使用できる主な機能

スマートフォンと連携する

- 「AQUOS リモート予約」アプリ（無料）をスマートフォンにダウンロードすれば、外出先でも好きなときに番組検索や番組予約ができるようになります。
  ▶ 44 ページ「スマートフォンで予約する (リモート予約)」
- 無料のアプリ「レコーダー IP コントロール」（ボイスリモコン）をスマートフォンにダウンロードすれば、“音声”を使っての録画番組の検索や、再生や録画リスト表示などの基本操作ができるようになります。
  ▶ 43 ページ「スマートフォンからコントロールする（ボイスリモコン）」

ダビングする

- アクオスブルーレイやアクオスに接続した外付け HDD やスカパー！プレミアムサービスチューナーからネットワークを使って内蔵 HDD にダビングできます。
  ▶ 33 ページ「ネットワークを使って内蔵 HDD へダビングする」
- スマートフォンで撮影した動画・静止画を本機へ、または本機で録画したタイトルをスマートフォンへダビングできます。
  ▶ 35 ページ「スマートフォンとレコーダー間でダビングする」

ソフトウェアを更新する

- 本機をインターネットに接続しているときは、最新のソフトウェアをネットワークサーバーからダウンロードし更新が行えます。ソフトウェアの更新情報は、パソコンを使用してシャープホームページ内のサポートステーションでご確認ください。【http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/】
  ▶ 46 ページ「USB メモリーを使用してソフトウェアを更新する」
  ▶ 49 ページ「ネットワークサーバーからソフトウェアを更新する」

本書の見かた

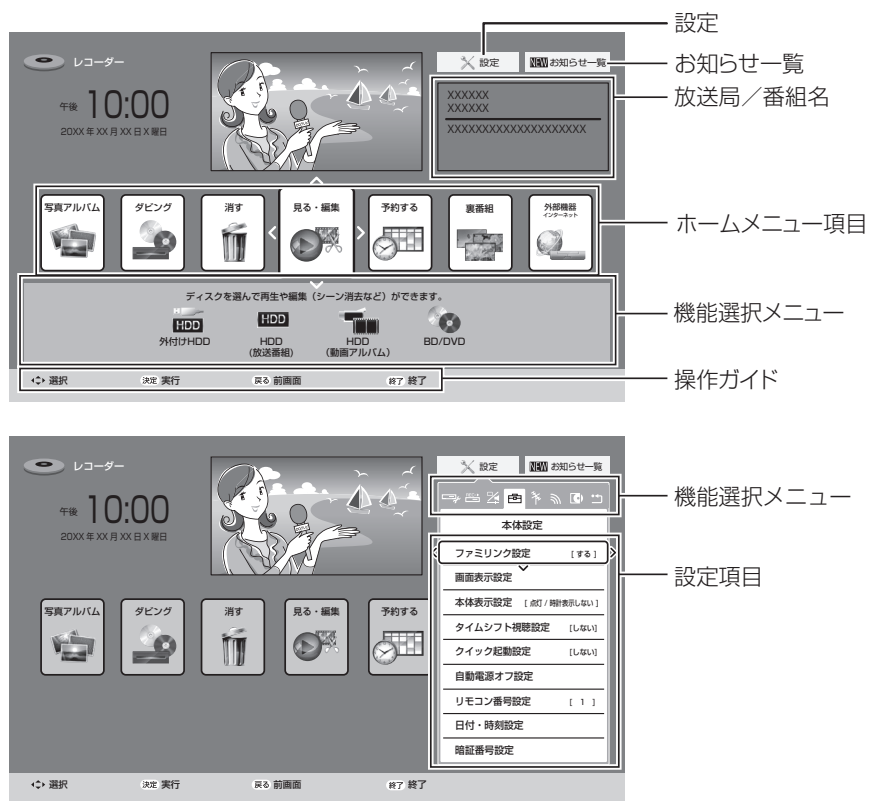
- 本書は、ブルーレイディスクレコーダー BD-T2500 ／ BD-T1500 ／ BD-W1500 ／ BD-W550 ／ W550SW ／ BD-S550 を対象とした取扱説明書です。
- 本書では、機種によって操作や説明が異なる記載を、次の機種マークを使って書き分けています。ご使用の機器の、機種マークの説明をお読みください。

機種マーク	機種名	主な機能差異
T2500	BD-T2500	SHDD（スロットインハードディスク）対応 無線 LAN 内蔵 アクセスポイント機能対応 録画チューナー数：3
T1500	BD-T1500	
W1500	BD-W1500	無線 LAN 内蔵 アクセスポイント機能対応 録画チューナー数：2
W550	BD-W550 /W550SW	無線 LAN 対応（USB 無線 LAN アダプター／市販品） 録画チューナー数：2
S550	BD-S550	無線 LAN 対応（USB 無線 LAN アダプター／市販品） 録画チューナー数：1

- 本書では、本機に内蔵の HDD（ハードディスク）を「内蔵 HDD」と、スロットインハードディスクを「SHDD」と、外付けの HDD を「外付け HDD」と表現しています。SHDD と外付け HDD を両方を指す場合は「増設 HDD」と表現しています。SHDD は BD-T2500 ／ T1500 のみ対応しています。
- 本書では、「ブルーレイディスク」を「BD」と表現しています。
- 本書では、全機種共通の機能や操作を説明するときは、BD-W550 のイラストを使用しています。
- 本書に掲載しているイラストは、説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なります。
- 本書の操作説明は、おもにリモコンを使って説明しています。

ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法

ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）とは、本機の操作や設定を行うことができるメニュー画面です。

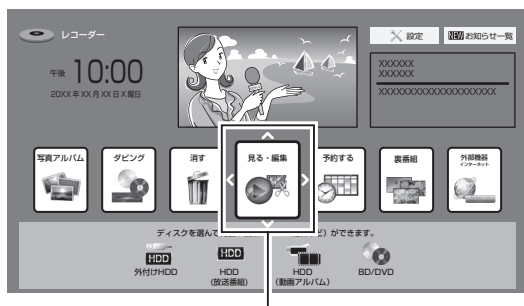
▼ホーム画面、設定メニュー画面例

※ 商品により表示される内容は異なります

お知らせ

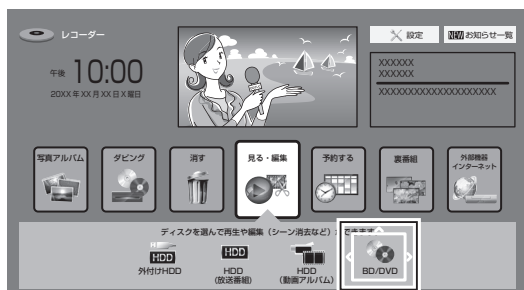
- ホーム画面を表示後約 1 分間何も操作をしないと、画面は自動的に消えます。
- ホームメニューの表示内容は変更される場合があります。
- ホーム画面が表示されない場合は、本機に同梱されている取扱説明書の「故障かな？と思ったら」（→ 235 ページ）をお読みください。

1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 ホームメニューから目的の項目を選んで決定します

（例：「見る・編集」を選んだとき）

3 操作・設定したいメディアまたは項目を選んで決定します

 で選び 決定 を押す

（例：「BD/DVD」を選んだとき）

4 設定します

設定方法は項目により異なります。操作ガイドに従って設定してください。

戻る を押すと、前に戻ります。

5 設定を終了します

終了 を押す

設定メニューの操作方法

1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 「設定」を選んで決定します

で選び 決定 を押す

3 機能選択メニュー（アイコン）を選び、目的の設定項目を選んで決定します

で選び 決定 を押す

（例：「本体設定」から「ファミリンク設定」を選んだとき）

4 設定します

設定方法は項目により異なります。操作ガイドに従って設定してください。

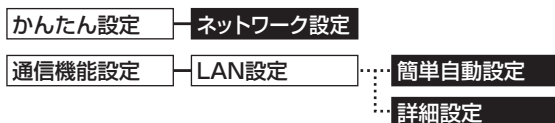
5 設定を終了します

終了 を押す

ネットワーク接続の準備（LAN を設定する）

ネットワーク接続の準備として、LAN の設定について説明します。
有線 LAN または無線 LAN の接続設定は、次の設定項目で行います。

かんたん設定 ─ ネットワーク設定

通信機能設定 ─ LAN設定 ┬ 簡単自動設定
　　　　　　　　　　　└ 詳細設定

- ネットワーク設定 ⇒ LAN を自動で設定し、ホームネットワーク機能の有効 / 無効を設定します。
  ▶ 8 ページ「かんたん設定（ネットワーク設定）を行う」
- 簡単自動設定 ⇒ LAN を自動で設定します。
  ▶ 10 ページ「有線 LAN 設定を行う」、14 ページ「無線 LAN 設定を行う」
- 詳細設定 ⇒ LAN を手動で設定します。
  ▶ 10 ページ「有線 LAN 設定を行う」、14 ページ「無線 LAN 設定を行う」

ご注意

- プロバイダとインターネット接続の契約をしていない場合は、LAN 接続での双方向サービスが楽しめません。
- アクトビラ、TSUTAYA TV をお楽しみになるときはプロキシサーバーを設定しないでください。プロキシサーバーを通じてインターネットに接続する環境の場合、アクトビラビデオ、TSUTAYA TV が視聴できない、一部の動作に制限が出ることがあります。
- 無線 LAN で接続する場合、本機でセキュリティ設定を行わないと、ホームネットワークはご使用できません。セキュリティについては、12 ページ「無線 LAN 設定の前に」をご覧ください。

お知らせ

- 電源を入れた状態で LAN ケーブルを接続したときは、回線接続ができない場合があります。

かんたん設定（ネットワーク設定）を行う

ご注意

- 「かんたん設定」－「ネットワーク設定」で LAN 設定ができなかった場合は、「通信機能設定」－「LAN 設定」で手動の LAN 設定を行ってください。
  ▶ 10 ページ「有線 LAN 設定を行う」、14 ページ「無線 LAN 設定を行う」

1 電源を切った状態で LAN ケーブルまたは無線 LAN アダプター※を接続します

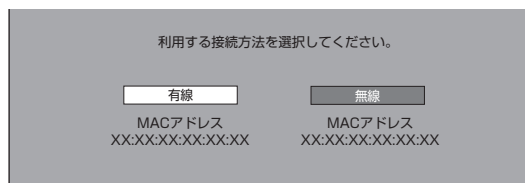
LAN ケーブルや無線 LAN アダプターの接続については、本機に同梱されている取扱説明書（→ 158、204 ページ）をご覧ください。

※対象機種：BD-W550 ／ W550SW ／ S550

2 ［ホーム］を押し、ホーム画面を表示させます

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

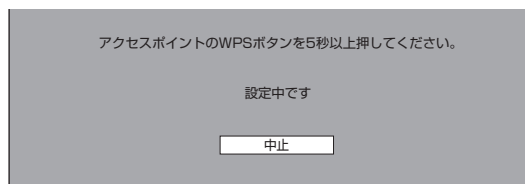
3 ①「設定」を選んで決定します ②「かんたん設定」－「ネットワーク設定」を選んで決定します

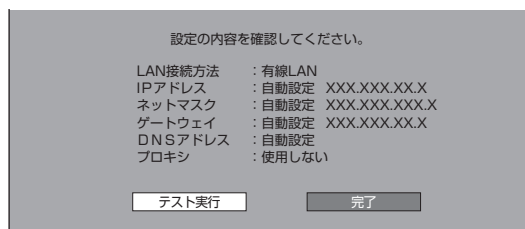
4 「有線」または「無線」を選んで決定します

5 有線接続のときは「設定する」、無線接続のときは「する」で決定します

無線接続で「する」を実行すると、アクセスポイントとの接続を自動で行います。利用するアクセスポイントの WPS ボタンを 5 秒以上押してください。

アクセスポイントのWPSボタンを5秒以上押してください。

設定中です

中止

設定中は、「設定中です」の表示が点滅します。

6 LAN に接続するためのテストをします。設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します

「完了」を選ぶと設定は保存されますが、テストは行われません。
LAN 設定の内容を確認（再設定）するときは手順 5 ～ 6 を行い再設定します。

7 ホームネットワークを設定します。「する」または「しない」を選んで決定します

▶ホームネットワーク機能については、26 ページ「ホームネットワーク機能の準備とご注意」をご覧ください。

8 「確認」で決定します

ホーム画面に戻ります。

有線 LAN 設定を行う

1 電源を切った状態で LAN ケーブルを接続します

LANケーブルの接続については本機に同梱されている取扱説明書(→ 156ページ)をご覧ください。

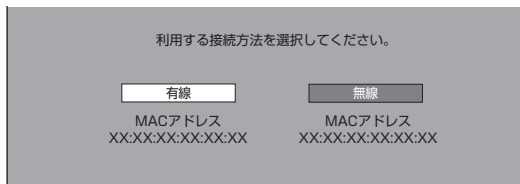
2 ホーム を押し、ホーム画面を表示させます

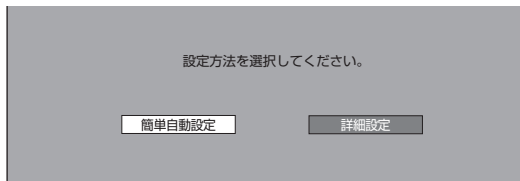
▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

3 ①「設定」を選んで決定します ②「通信機能設定」－「LAN 設定」を選んで決定します

4「変更する」を選んで決定します

「初期化する」を選んで決定すると、LAN 設定の内容が工場出荷時の状態に戻ります。

5「有線」を選んで決定します

「無線」を選んで決定すると、無線 LAN の設定になります。

6「簡単自動設定」または「詳細設定」を選んで決定します

- 「簡単自動設定」⇒ 手順 12 へ
  「簡単自動設定」を選んで決定すると、自動で設定が始まります。
- 「詳細設定」⇒ 手順 7 へ

7 IP アドレスを設定します

(1) IP アドレス自動取得の「する」または「しない」を選んで決定します。

- 「する」
  IPアドレスを自動で取得します。(モデムまたはルーターのDHCPサーバー機能を利用します。)
  IP アドレスを取得したら「確認」で決定します。手順 9 に進みます。
- 「しない」
  「IP アドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を、ソフトウェアキーボードを使って入力します。(入力方法については、本機に同梱されている取扱説明書(→ 134 ページ)をご覧ください。)それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

(2)「次へ」で決定します。

8 DNS の IP アドレスを設定します

「プライマリ」と「セカンダリ」の IP アドレスを、ソフトウェアキーボードを使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。
「次へ」で決定します。

9 プロキシサーバーのアドレスを設定します

(1)「する」または「しない」を選んで決定します。

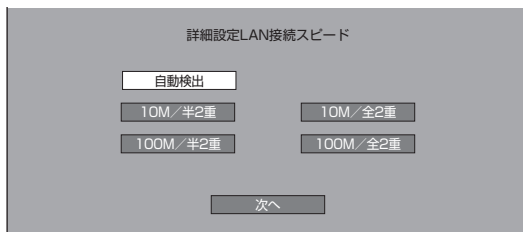
- 「する」
  プロバイダから指定されているプロキシサーバーの「アドレス(IP アドレス)」と「ポート(番号)」を、ソフトウェアキーボードを使って入力してください。
- 「しない」
  次の手順に進みます。

(2)「次へ」で決定します。

10 より詳細な設定をします

「する」または「しない」を選んで決定します。

通常は「しない」に設定してください。
「する」⇒ 手順 11 へ
「しない」⇒ 手順 12 へ

11 LAN 接続スピードを設定します

(1)「自動検出」を選んで決定します。
　通常は設定の必要がありません。通信がうまくいかないときなどに、設定を変更して確認します。
(2)「次へ」で決定します。

12 設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します

テスト実行は、IP アドレスを自動で取得する設定のときのみです。IP アドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」は選べません。
「完了」を選ぶと設定は保存されますが、テストは行われません。
LAN 設定の内容を確認（再設定）するときは手順 1 ～ 12 を行い再設定します。

無線 LAN 設定の前に

- 無線 LAN は、すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。
- 無線 LAN は、距離や障害物の影響で伝送速度がさがったり、同一周波数を使う機器の影響でつながらないことがあります。
- 本機は公衆 LAN への接続には対応しておりません。通信端末認定品の市販ルーターなどを用いて LAN 接続をしてください。

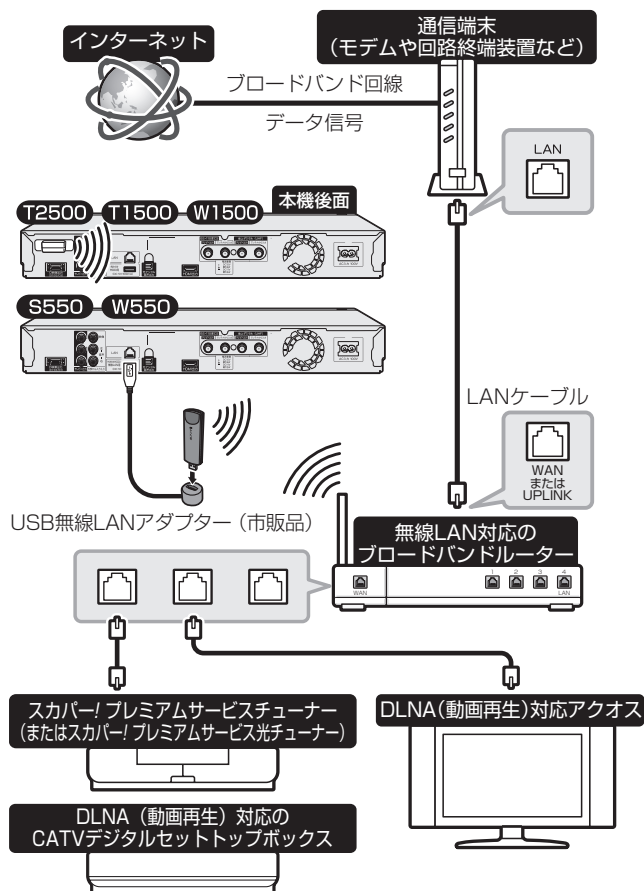
T2500 **T1500** **W1500**

- アクセスポイント機能を使用する場合、本機のインターネット接続は、有線 LAN で行ってください。無線 LAN でインターネットに接続しているとき、本機のアクセスポイント機能は使用できません。
  ▶ 17 ページ「アクセスポイント機能を利用する」
- 本機を無線で LAN に接続するには、無線 LAN 対応のブロードバンドルーター（アクセスポイント／市販品）への接続設定が必要です。
  - 本機は、無線 LAN 高速化規格 IEEE802.11n、および無線 LAN 規 IEEE802.11a/g/b に対応しています。（IEEE802.11n での接続を推奨します。）
  - 対応チャンネル：
    2.4GHz 帯：1 ～ 13ch
    5GHz 帯：36 ～ 48ch（W52）、52 ～ 64ch（W53）、100 ～ 140ch（W56）
  - 無線 LAN の接続方式について、詳しくはお使いの機器（ブロードバンドルーターなど）のメーカーにお問い合わせください。

W550 **S550**

- 無線 LAN を利用するためには無線 LAN 対応のブロードバンドルーター（アクセスポイント）が必要になります。アクセスポイントの取扱説明書をご覧いただき設置、設定を行ってください。
  - 無線 LAN を利用するためには、市販品の USB 無線 LAN アダプターが必要です。安定したワイヤレス接続のために 802.11n(5GHz) 方式／ AES 暗号化に対応した、（株）BUFFALO 製 WLI-UV-AG300S（市販品）を使用してください。
  - 設置およびケーブルの取り扱いにご注意いただき、安全な場所に設置してください。

・USB 無線 LAN アダプターは、本体が熱くなります。安全な場所に設置してください。詳しくは USB 無線 LAN アダプターの取扱説明書の「USB 無線 LAN アダプター設置環境」を必ずご覧の上、正しくお使いください。
・USB 無線 LAN アダプターは、本機と 1 対 1 で接続してください。USB ハブ接続、複数機器の接続はしないでください

▼接続例

※回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。

セキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届いてしまいます。セキュリティに関する設定を行うことで、以下のようなことを防げます。

通信内容を盗み見られる

・悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

・悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）。
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）。
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）。
・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用してください。

セキュリティ方式について

本機は、WEP、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（TKIP/AES）のセキュリティ方式に対応しています。お使いのブロードバンドルーターが対応しているセキュリティ方式をご確認のうえ、より強固なセキュリティ設定をされることを推奨します。

セキュリティ方式の種類

- WEP：
  WEP キーと呼ばれる暗号化キーでデータを暗号化する方式です。
- WPA-PSK（TKIP、AES）、WPA2-PSK（TKIP、AES）：
  それぞれに強力な暗号化の規格である TKIP と、さらに強力な暗号化の規格である AES があります。

セキュリティキー（暗号化キー）について

各セキュリティ方式を設定する際に、暗号化を行うための鍵であるセキュリティキー（暗号化キー）の入力が必要となります。お使いのブロードバンドルーターの取扱説明書をご確認のうえ、セキュリティキー（暗号化キー）を入力してください。

無線 LAN 設定を行う

ルーターが WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している場合、無線 LAN を自動で設定することができます。

ご注意

- ルーターが WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応していない場合、または「かんたん設定」－「ネットワーク設定」で LAN 設定ができなかった場合は、手動で無線 LAN 設定を行ってください。

1 **電源を切った状態で無線 LAN アダプター※を接続します**

無線 LAN アダプターの接続については、本機に同梱されている取扱説明書（→ 204 ページ）をご覧ください。

※対象機種：BD-W550 ／ W550SW ／ S550

2 **ホーム ホームを押し、ホーム画面を表示させます**

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

3 **①「設定」を選んで決定します**
②「通信機能設定」－「LAN 設定」を選んで決定します

4 「変更する」を選んで決定します

「初期化する」を選んで決定すると、LAN 設定の内容が工場出荷時の状態に戻ります。

5 「無線」を選んで決定します

「有線」を選んで決定すると、有線 LAN の設定になります。

6 「簡単自動設定」または「詳細設定」を選んで決定します

- 「簡単自動設定」⇒ 手順 14 へ
  「簡単自動設定」を選んで決定すると、自動で設定が始まります。利用するアクセスポイントの WPS ボタンを 5 秒以上押してください。
- 「詳細設定」⇒ 手順 7 へ

7 利用するアクセスポイントを選んで決定します

「その他」を選択したときは、アクセスポイント名をソフトウェアキーボードを使って入力し、「次へ」を選んで決定します。（入力方法は、134 ページをご覧ください。）

8 セキュリティ方式を選んで決定します

「設定なし」を選んだ場合、ホームネットワーク機能は使用できません。

9 セキュリティキーを入力し、「次へ」で決定します

セキュリティキーについては、お使いのルーターの取扱説明書をご覧ください。

10 「テスト実行」を選んで決定します

アクセスポイントに接続できない場合は、手順 4 に戻ります。
お使いのルーターの接続状況をご確認ください。

11 IP アドレスを設定します

(1) IP アドレス自動取得の「する」または「しない」を選んで決定します。

- 「する」
  IPアドレスを自動で取得します。(モデムまたはルーターのDHCPサーバー機能を利用します。)
  IP アドレスを取得したら「確認」で決定します。手順 13 に進みます。
- 「しない」
  「IP アドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を、ソフトウェアキーボードを使って入力します。(入力方法については、本機に同梱されている取扱説明書（→ 134 ページ）をご覧ください。) それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

(2)「次へ」で決定します。

12 DNS の IP アドレスを設定します

「プライマリ」と「セカンダリ」の IP アドレスを、ソフトウェアキーボードを使って入力します。
それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。
「次へ」で決定します。

13 プロキシサーバーのアドレスを設定します

(1)「する」または「しない」を選んで決定します。

- 「する」
  プロバイダから指定されているプロキシサーバーの「アドレス（IP アドレス)」と「ポート（番号)」を、ソフトウェアキーボードを使って入力してください。
- 「しない」
  次の手順に進みます。

(2)「次へ」で決定します。

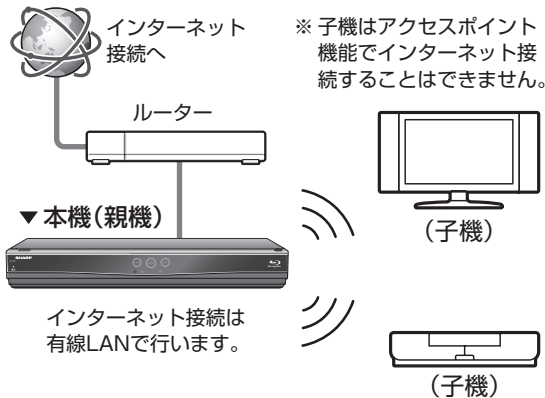
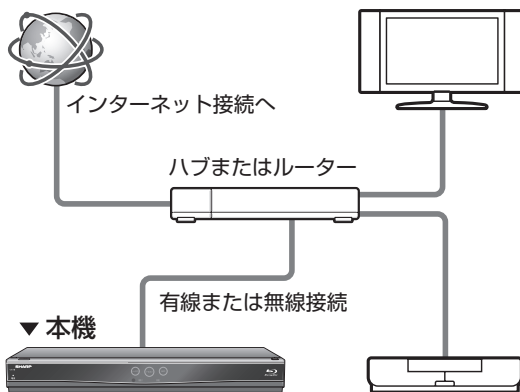
14 設定内容を確認し、「テスト実行」または「完了」を選んで決定します

テスト実行は、IP アドレスを自動で取得する設定のときのみです。IP アドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」は選べません。
「完了」を選ぶと設定は保存されますが、テストは行われません。
LAN 設定の内容を確認（再設定）するときは手順 1 ～ 14 を行い再設定します。

T2500 T1500 W1500

アクセスポイント機能を利用する

本機は、アクセスポイント機能（Wi-Fi コネクト機能）を搭載しており、無線 LAN の親機となることができます。ホームネットワーク機器を子機として接続し、ホームネットワークで視聴、録画を楽しむことができます。
アクセスポイント機能は、BD-T2500 ／ T1500 ／ W1500 のみ対応しています。

アクセスポイント機能を利用する接続

アクセスポイント機能を使用しない接続

ご注意

- アクセスポイント機能を使用する場合、本機のインターネット接続は、有線 LAN で行ってください。無線 LAN でインターネットに接続しているとき、本機のアクセスポイント機能は使用できません。
  ▶ 10 ページ「有線 LAN 設定を行う」
- 本機は公衆 LAN への接続には対応しておりません。通信端末認定品の市販ルーターなどを用いて LAN 接続してください。
- Wi-Fi コネクト機能を有効にした場合は、本機を無線 LAN の子機としてネットワークに接続できなくなります。

Wi-Fi コネクトを設定する

1 ホーム を押し、ホーム画面を表示させます

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

2 ①「設定」を選んで決定します
②「通信機能設定」−「ホームネットワーク設定」が「する」に設定されているか確認します

「しない」に設定されているときは、「ホームネットワーク設定」を選び「する」に設定します。設定については、28 ページ「ホームネットワークを設定する」をご覧ください。

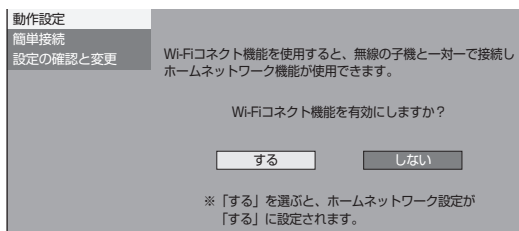
3「LAN 設定」が「有線」に設定されているか確認します。
設定については、10 ページ「有線 LAN 設定を行う」をご覧ください。

ホームネットワーク機能をご使用になる場合、無線では電波干渉や障害物等の影響を受け録画等が不安定になることがあります。このような場合は有線で接続してください。

4「Wi-Fi コネクト」を選んで決定します

5 4 桁の暗証番号を 1 〜 10 を押して入力します

暗証番号が未設定の場合は、画面の表示にしたがって設定します。

6「動作設定」−「する」を選んで決定します

子機を接続する

子機を「Wi-Fi コネクトかんたん接続」で接続します。

ご注意

- 子機が WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している場合の接続方法です。WPS に対応していない場合の接続方法は、子機の取扱説明書をご覧ください。

1 ［ホーム］を押し、ホーム画面を表示させます

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

2 ①「設定」を選んで決定します ②「かんたん設定」－「Wi-Fi コネクトかんたん接続」を選んで決定します

3 利用する子機の WPS 機能を有効にします

詳しくは子機の取扱説明書をご覧ください。

4 「実行」で決定します

設定中は「設定中です」の表示が点滅します。

5 終了 を押して設定を終了します

本機の設定が完了しました。
子機からの接続を確認してください。

メッセージは数秒で消えます。

Wi-Fi コネクトの情報を設定する

SSID、セキュリティ方式など各種設定を変更する場合は次の設定を行ってください。

1 「Wi-Fi コネクトを設定する」の手順 1 ～ 6 を行います

▶ 18 ページ「Wi-Fi コネクトを設定する」をご覧ください。

2 「設定の確認と変更」を選んで決定します

3 「変更する」を選んで決定します

「初期化する」を選んで決定すると、Wi-Fi コネクト設定が工場出荷時の状態に戻ります。

4 使用するモードを選び、「次へ」を選んで決定します

SSID は変更できます。変更する場合は、1 文字以上 32 文字以内で入力します。
別売のネットワークアダプタ VR-NP1 と接続する際には「高品位モード (5GHz)」を推奨します。
スマートフォン等の 2.4GHz のみ対応している機器と接続するときは、「通常モード (2.4GHz)」に変更してお使いください。

5 セキュリティ方式を選んで決定します

「設定なし」を選んで決定した場合⇒手順 9 へ

セキュリティ方式は WPA2-PSK（AES）を推奨します。お使いの子機がこの方式に対応している場合は、WPA2-PSK（AES）を選択してください。

6 セキュリティを設定します。セキュリティキーの入力形式を選びます

入力形式はセキュリティ方式により選択項目が異なります。

WPA-PSK（TKIP/AES）：「8 ～ 63 文字の英数」、「64 桁の 16 進数」

WPA2-PSK（TKIP/AES）：「8 ～ 63 文字の英数」、「64 桁の 16 進数」

セキュリティキーは変更できます。変更する場合は、入力形式に応じた文字数を入力します。

7 セキュリティキーを入力します

8 「次へ」で決定します

9 IP アドレスを自動で取得します。「する」を選んで決定します

10 「次へ」で決定します

11 設定内容を確認し、「確認」で決定します

インターネットの動画を楽しむためのご注意

インターネットに接続し、「アクトビラビデオ」、「TSUTAYA TV」のコンテンツを楽しむための注意事項について説明します。

■インターネットの利用を制限するには

「ホーム」－「設定」－「通信機能設定」の「インターネット接続制限」を「する」にすると、インターネットに接続できません。
「インターネット接続制限」の設定には暗証番号の設定が必要です。
▶ 53 ページ「LAN 通信を制限する」

■クッキー（Cookie）を削除するには

「ホーム」－「設定」－「初期化・更新」の「個人情報初期化」を行います。「個人情報初期化」を行うと、個人情報や予約内容、番組表データも消去されます。
▶ 54 ページ「個人情報を初期化する」

※ クッキー（Cookie）とは、Web サイトから本機に一時的に書き込まれる情報です。例えば、買い物ができる Web サイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれ、選んだ商品を確認するときや、商品の代金を計算するときに利用されます。

重 要

- インターネット動画サービスはネットワークサービス事業者の都合により、予告なく変更や終了されることがあります。
  インターネット動画サービスの変更や終了による損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- 動画をご覧になる場合、本機と回線終端装置を LAN 接続してください。回線の使用状況や諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。
- 本機には、プロバイダーに接続するためのユーザー ID やパスワードを登録できません。接続に認証が必要なインターネット接続環境の場合は、ブロードバンドルーターに接続情報を登録してください。
- アクトビラ、TSUTAYA TV をお楽しみになるときはプロキシサーバーを設定しないでください。プロキシサーバーを通じてインターネットに接続する環境の場合、アクトビラビデオ、TSUTAYA TV が視聴できない、一部の動作に制限が出ることがあります。
- ホームネットワーク機能を使用中は、アクトビラ、TSUTAYA TV は視聴できません。
- アクトビラ、TSUTAYA TV 視聴中は、ホームネットワーク機能は使用できません。

お知らせ

- 動画によっては、本機で再生できない場合があります。

ヒント

- アクトビラ、TSUTAYA TV など映像配給サービスをご利用になりたいときは、光回線（FTTH）が必要です。
- アクトビラビデオをお楽しみになる場合は、インターネット回線は、実効速度 6Mbps 程度必要です。アクトビラビデオ・フルの場合は、実効速度 12Mbps 程度必要です。

アクトビラ／ TSUTAYA TV を見る

「アクトビラ」や「TSUTAYA TV」とは、インターネットを利用してテレビ向けの情報を配信しているサービスです。サービスへの入会などは不要ですが、配信している動画には、一部有料のものがあります。

- アクトビラビデオ
  インターネットのページ上で再生する映像コンテンツです。文字や写真と同時に映像も楽しめます。ページ上の項目や本機のリモコンを使って操作します。
- アクトビラビデオ・フル
  テレビの全画面で映像を再生します。本機のリモコンを使って操作します。

1 インターネット（ふた内）を押して、インターネットを表示させます

2 視聴したいサービスを選んで決定します

選んだサービスの画面が表示されます。
「ホーム」－「外部機器・インターネット」から、「アクトビラ」または「TSUTAYA TV」を選んで表示させることもできます。

3 見たいコンテンツを選びます

- 以降の操作は画面の表示に従って操作してください。例えば、決定で「再生」などの項目を選びます。
- アクトビラビデオ・フルを再生した場合は、全画面で表示されます。
- テレビの画面に戻すときは、終了を押します。

4 頭出し操作や一時停止などの操作は、本機のリモコンで操作します

アクトビラ、TSUTAYA TV を終了するときは

（1）インターネット（ふた内）または終了を押します。

（2）「する」を選んで決定を押します。

VOD（ビデオオンデマンド）操作パネルで操作する

「アクトビラビデオ」、「アクトビラビデオ・フル」、「TSUTAYA TV」を再生しているとき、VOD 操作パネルを表示させ、一時停止、早戻し／早送りなどの操作も行えます。

1 VOD操作（ふた内）を押し、VOD 操作パネルを表示させます

VOD 操作パネルが表示されます。

2 VOD 操作パネルの操作ボタンを選んで 決定 を押します

操作できるボタンは、動画コンテンツにより異なります。

BD-LIVE 対応の BD ビデオを楽しむ

BD-LIVE ロゴが記載された BD ビデオは、インターネットを経由して特典映像やさまざまな情報をダウンロードして内蔵ハードディスクに保存することができます。

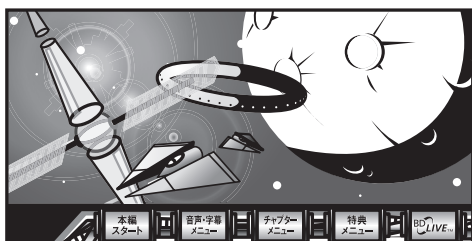
1 ネットワークの接続と設定をします

2 本機の電源を入れ BD ビデオを挿入します

BD ビデオを挿入すると、自動的に BD/DVD モードに切り換わり、再生が始まります。

3 自動的に再生が始まらないときは、BD/DVD モードに切り換えてから再生ボタンを押します

4 ディスクの取扱説明書に従い、BD-LIVE（BD ライブ）の操作をします

画面例

- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードされた映像情報などは、内蔵 HDD（ハードディスク）に保存されます。HDD（ハードディスク）から再生するときは、ダウンロード時に視聴していたディスクを本機に挿入してください。別のディスクを挿入すると、HDD（ハードディスク）に保存された情報は再生できません。
- データが HDD（ハードディスク）に保存されるまで一定の時間がかかります。（データが保存されるまでの時間は、インターネット接続速度や番組のデータ量により、変わります。）

お知らせ

- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードし、HDD（ハードディスク）に保存されたデータは、不要になれば消去することができます。「ホーム」－「設定」－「録画·再生設定」－「BD ／ DVD 再生設定」の、「BD ビデオ用データ初期化」で初期化をしてください。
- HDD（ハードディスク）の容量が足りないときは、データが保存されません。画面にメッセージが表示されます。不要なデータを削除してください。
- BD-LIVE（BD ライブ）を楽しむためのソフトを更新できます。BD-LIVE（BD ライブ）機能は、専用のソフトを使用しています。BD-LIVE（BD ライブ）に接続すると、ソフトを最新のものに更新できます。

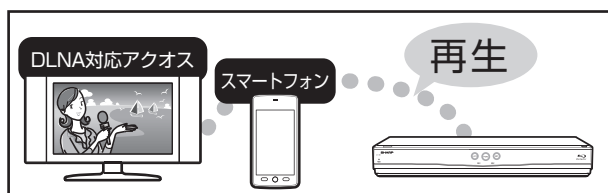
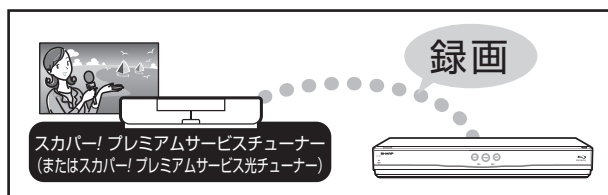
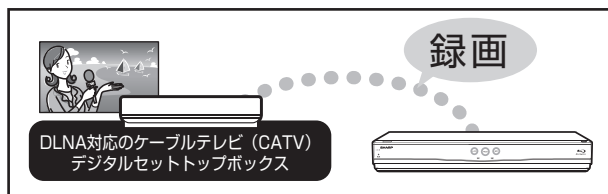
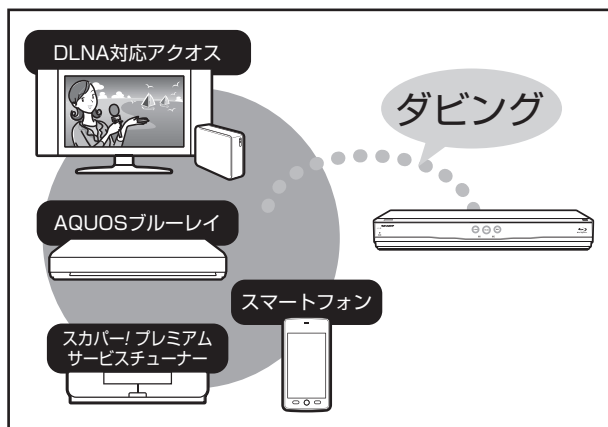
ヒント

- BD-LIVE（BD ライブ）で楽しむために、ブロードバンドサービスに接続してお使いになることをおすすめします。
- BD-LIVE（BD ライブ）で映像などの情報を HDD（ハードディスク）に保存中は、再生の操作が制限されることがあります。
- BD-LIVE（BD ライブ）は、自動的にインターネットに接続し、楽しむ機能です。BD-LIVE（BD ライブ）対応のディスクが、本機やディスクの識別信号（ID）をインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 本機は、自動的にインターネットに接続しないように設定することができます。「ホーム」－「設定」－「通信機能設定」の、「インターネット接続制限」で設定してください。

3. ホームネットワークを利用する

ホームネットワーク機能の準備とご注意

本機とホームネットワーク対応機器を LAN 接続することで、ネットワークを通じて機器を操作し、映像と音声を送ることができます。
ネットワークを通じて映像と音声を送りますので、本機とホームネットワーク対応機器が別の部屋にあっても、この機能を利用することができます。

●ホームネットワーク機能でできること

• 別の部屋にある DLNA（動画再生）対応のシャープ製液晶テレビ「アクオス」やスマートフォンで本機の映像を見る。

• LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナー(または､スカパー！プレミアムサービス光チューナー）から本機に録画する。

• DLNA 対応､LAN 接続のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスから本機に録画する。

• アクオスブルーレイや DLNA 対応のアクオスに接続した外付け HDD、スカパー！プレミアムサービスチューナ、スマートフォンから、ネットワークを使って内蔵 HDD へダビングできます。

重 要

- 無線 LAN を使用したときは、電波干渉や障害物等の影響でダビングや録画が不安定になる場合があります。そのようなときは、安定したダビングや録画を行うため、有線 LAN で接続してください。

ご注意

- T2500 T1500 W1500 本機のアクセスポイント機能を利用する場合は、Wi-Fi コネクトの設定が必要です。
  ▶ 17 ページ「アクセスポイント機能を利用する」
- 本機を無線 LAN でネットワーク接続している場合、LAN のセキュリティ方式を「設定なし」にするとホームネットワーク機能は使用できません。
  ▶ 12 ページ「無線 LAN 設定の前に」
- 「クイック起動設定」を「する（常時）」に設定したときは、本機の電源を切った状態でも、DLNA 対応のシャープ製液晶テレビ「アクオス」から、内蔵 HDD に録画したタイトルを視聴するための再生操作が行えます。
  ▶ 51 ページ「一発（クイック）起動を設定する」
- 内蔵／増設 HDD に録画したタイトルをホームネットワーク機能を利用して視聴する場合は、電源を「入」にしてから操作をしてください。
- アクトビラ、TSUTAYA TV 視聴中は、ホームネットワーク機能は使用できません。

お知らせ

- 内蔵／増設 HDD に録画したタイトルを視聴できます。(BDやDVDは視聴できません。)
- ホームネットワークのみを利用するときは、プロバイダ契約は不要です。
- DLNA（動画再生）対応テレビやスカパー！プレミアムサービスチューナー（または、スカパー！プレミアムサービス光チューナー）、DLNA 対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスと本機を直接 LAN 接続するときは、LAN ケーブルクロスタイプのご使用をおすすめします。
- 本機で放送を録画中は、モバイル機器用フォルダ内の番組をスマートフォンへ放送番組転送や録画番組転送／ダビングすることができない場合があります。
  - BD-T2500/T1500/W1500/W550/W550SW では 2 番組同時録画中
  - BD-S550 では録画中
- スマートフォンへの番組転送中に上記の録画状態になったときは番組転送が停止します。
- スマートフォンへのダビング実行中に上記の録画状態になったときはダビングが中断され、録画番組はダビング実行前の状態に戻ります。

ホームネットワークを設定する

初期設定でホームネットワーク設定を行ったときは設定の必要はありません。

1 ホーム を押し、ホームメニューを表示させます

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

2 ①「設定」を選んで決定します
②「通信機能設定」−「ホームネットワーク設定」を選んで決定します

3「する」を選んで決定します

ホームネットワーク（LAN接続）により、他の機器からの本機への録画や、AQUOSなど他の機器で本機の再生ができるようにしますか？

※この設定は、LAN接続しているときに有効です。

する　しない

接続先の機器側でも設定が必要な場合があります。

4 終了 を押して設定を終了します

5 接続先の設定をします

- DLNA に対応したアクオスと接続したとき、接続機器として本機を登録します。
- LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナーや DLNA 対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスと接続したとき、録画機器として本機を登録します。
- 接続先の機器の設定については、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

• ホームネットワーク機能を利用してできることについては、以下の説明をお読みください。

▶ 29 ページ「別の部屋にある機器で本機のハードディスク内の番組や静止画を見る」
▶ 30 ページ「別の部屋にある機器で放送中の番組を視聴する」
▶ 33 ページ「ネットワークを使って内蔵 HDD へダビングする」
▶ 35 ページ「スマートフォンとレコーダー間でダビングする」
▶ 36 ページ「スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画する（「スカパー！プレミアムサービス Link」（録画））」
▶ 38 ページ「ケーブルテレビ（CATV）を録画する」

別の部屋にある機器で本機のハードディスク内の番組や静止画を見る

ホームネットワーク機能を利用すれば、他の部屋にあるホームネットワーク対応機器のシャープ製液晶テレビ「アクオス」やスマートフォンで、内蔵／増設 HDD に録画したタイトルや静止画を見ることができます。（BD や DVD は視聴できません。）

ご注意

- 視聴できるのは 1 台のみです。同時に 2 台の機器で視聴することはできません。
- 本機からホームネットワーク対応機器を操作することはできません。機器側から本機を操作してください。
- 本機に録画した番組（放送）をホームネットワーク対応機器で再生したとき、機器の再生能力によってはスムーズな再生映像とならない場合があります。お使いの機器の再生能力は、お使いの機器の取扱説明書でご確認ください。
- ダビング中のタイトルは、ホームネットワークで視聴することができません。
- ホームネットワーク対応機器との接続や設定、操作については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶ 設定については、28 ページ「ホームネットワークを設定する」をご覧ください。

2 ホームネットワーク対応機器を LAN に接続します

この機能を利用するには、あらかじめ LAN 接続の設定がされている必要があります。
設定方法はホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

3 ホームネットワーク対応機器で本機を選択します

設定については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ホームネットワーク対応機器で本機を視聴する操作を行います

視聴操作についても、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 対応機器については、シャープサポートホームページ (http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/) でご確認ください。
- シャープ製スマートフォンをお使いの場合は、アプリケーションソフト（Smart Familink）で操作を行うことができます。対応するスマートフォンについて詳しくは、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/）でご確認ください。
- iPhone/iPad や他社製 Android 端末をお使いの場合は、パケット・ビデオ社のアプリケーションソフト「Twonky Beam」で操作を行うことができます。尚、編集した録画番組ではうまく再生できない場合があります。「Twonky Beam」を使って iPhone/iPad で楽しむ場合、「モバイル機器用コンテンツ」フォルダの中から、番組を選んでください。アプリケーションの詳細については、「Twonky Beam」のホームページ（http://www.packetvideo.co.jp/twonkybeam/）をご確認ください。弊社は本アプリケーションに関して一切の責任を負いません。

別の部屋にある機器で放送中の番組を視聴する

ホームネットワーク機能を利用すれば、他の部屋にあるホームネットワーク対応機器で、放送中の番組を視聴することができます。

ご注意

- 視聴できるのは 1 台のみです。同時に 2 台の機器で視聴することはできません。
- 本機からホームネットワーク対応機器を操作することはできません。機器側から本機を操作してください。
- 他の機器で視聴中は、内蔵 HDD に放送を一時蓄積します。このため、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 本機のチューナーで選局できる番組のみ視聴することができます。LAN 接続している機器の番組は視聴することができません。
- 本機で視聴可能な番組のみホームネットワークで視聴することができます。未契約の番組や録画禁止のコンテンツは視聴することができません。
- 本機の状態によっては予約録画開始 2 分前に、番組の転送を停止することがあります。
- 本機の電源を入れた状態で視聴してください。
- 視聴年齢制限された番組は視聴することができません。
- ホームネットワーク対応機器との接続や設定、操作については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶ 設定については、28 ページ「ホームネットワークを設定する」をご覧ください。

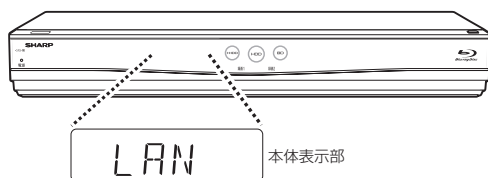
2 ホームネットワーク対応機器を LAN に接続します

この機能を利用するには、あらかじめ LAN 接続の設定がされている必要があります。
設定方法はホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

3 ホームネットワーク対応機器で本機を選択します

設定については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ホームネットワーク対応機器で本機を視聴する操作を行います

視聴操作についても、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 本機から放送番組を転送する際の画質を設定することができます。視聴映像がカクカクして見える、途切れたりする場合は、転送画質を変更することで視聴している映像が正常に見えることがあります。
  ▶ 32 ページ「転送動画の画質を選択する（放送番組転送画質設定）」
- 一部のホームネットワーク対応機器が、ホームネットワーク経由で放送中の番組を視聴することができます。対応機器についてはシャープサポートホームページ (http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/）でご確認ください。
- スマートフォン、タブレット端末の場合は専用アプリケーションが必要となります。シャープ製スマートフォンをお使いの場合は、アプリケーションソフト（Smart Familink）で操作を行うことができます。対応するスマートフォンについて詳しくは、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/）でご確認ください。
- iPhone/iPad や他社製 Android 端末をお使いの場合は、パケット・ビデオ社のアプリケーションソフト「Twonky Beam」で操作を行うことができます。「Twonky Beam」を使って iPhone/iPad で楽しむ場合、「モバイル機器用コンテンツ」フォルダの中から、番組を選んでください。アプリケーションの詳細については、「Twonky Beam」のホームページ（http://www.packetvideo.co.jp/twonkybeam/）をご確認ください。弊社は本アプリケーションに関して一切の責任を負いません。

転送動画の画質を選択する（放送番組転送画質設定）

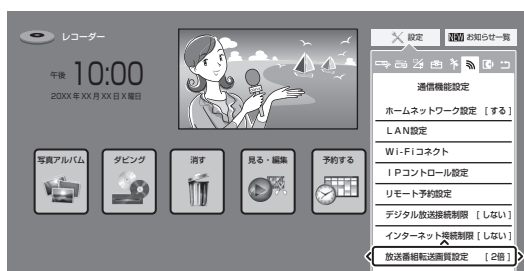
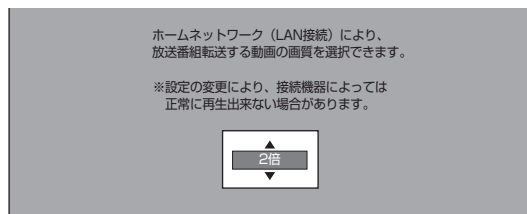
電波状態が悪く（再生処理能力が低く）視聴映像がカクカクして見える、途切れたりする場合は、転送画質を低い画質に変更することで視聴している映像が正常に見えることがあります。

ご注意

• 録画したタイトルは転送画質設定を行えません。録画されている画質で転送されます。

1 ［ホーム］を押してホーム画面を表示させます

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

2 ①「設定」を選んで決定します
②「通信機能設定」－「放送番組転送画質設定」を選んで決定します

3 転送する動画画質を選んで決定します

「DR」「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「10 倍」から選択できます。

4 ［終了］を押して設定を終了します

ネットワークを使って内蔵 HDD へダビングする

ネットワークに接続した次の機器から、録画した番組を本機の内蔵 HDD にダビングできます。
・アクオスブルーレイ
・アクオスに接続した外付け HDD
・スカパー ! プレミアムサービスチューナー

ご注意

- 複数のタイトルをダビングする場合は、ダビング用の接続機器の電源をダビング中に切らないでください。ダビングが実行されているタイトルの終了後に、電源が切れてしまい、継続してダビングが行われない場合があります。
- ファミリンク設定（取扱説明書→ 200 ページ）が「する」に設定されている場合は、テレビの電源を切ると自動的に本機の電源も切れますので、ダビングが終了するまで電源を切らないでください。

お知らせ

- 「スカパー ! プレミアムサービス Link」（ダビング）は、録画したスカパー ! プレミアムサービスの番組を、ホームネットワーク（家庭内 LAN）内に接続された機器間でコピーまたはムーブできるネットワークダビングの機能です。
- スカパー ! プレミアムサービス対応の DVR、USB ハードディスク録画対応チューナーまたはダビング送信に対応した機器と「スカパー ! プレミアムサービス Link」（ダビング）に対応した機器をネットワーク接続することで、機器間で番組をムーブ / コピーすることが可能です。
- ラジオ番組は対応しておりません。
- 対応機器については、シャープサポートホームページ (http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/) でご確認ください。

アクオスブルーレイからダビングする

1 ダビング元の機器を LAN に接続します

2 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶ 設定については、28 ページ「ホームネットワークを設定する」をご覧ください。

3 [ホーム] を押してホーム画面を表示させます

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

4 「ダビング」－「ネットワーク機器」を選んで決定します

5 ネットワークに接続されている機器（サーバー）が検出されます。ダビング元の機器を選んで決定します

6 ダビング元の機器のフォルダが表示されます。フォルダを選んで決定すると、フォルダ内（下層）に移動します

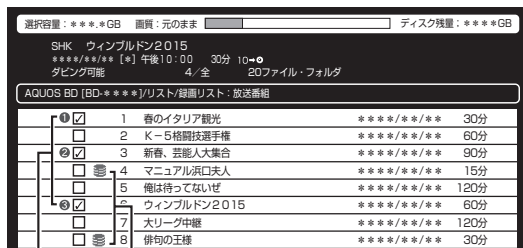
7 ダビングしたいタイトルを選びます

タイトル選択の操作例

選択容量：＊＊＊.＊GB　画質：元のまま　ディスク残量：＊＊＊＊GB

SHK　ウィンブルドン２０１５
＊＊＊＊/＊＊/＊＊ [＊] 午後10：00　30分　10→⊙
ダビング可能　4／全　20ファイル・フォルダ

AQUOS BD [BD-＊＊＊＊]/リスト/録画リスト：放送番組

選択	No.	タイトル	日付	時間
❶☑	1	春のイタリア観光	＊＊＊＊/＊＊/＊＊	30分
☐	2	K－5格闘技選手権	＊＊＊＊/＊＊/＊＊	60分
❷☑	3	新春、芸能人大集合	＊＊＊＊/＊＊/＊＊	90分
☐	4	マニュアル浜口夫人	＊＊＊＊/＊＊/＊＊	15分
☐	5	俺は待ってないぜ	＊＊＊＊/＊＊/＊＊	120分
❸☑	6	ウィンブルドン２０１５	＊＊＊＊/＊＊/＊＊	60分
☐	7	大リーグ中継	＊＊＊＊/＊＊/＊＊	120分
☐	8	俳句の王様	＊＊＊＊/＊＊/＊＊	30分

ダビングしたタイトルにはマークが付きます。

選択したタイトルには番号が付きます。

- 複数のタイトルを選択するときは、黄 を押してチェックボックスにチェックマークを付けます（☑）。
- 緑（まとめて選択）を押すと、1 度に 100 タイトルまで選択できます。
- 選択を解除するときは、そのタイトルを選び 黄 を押します。
- すべての選択を解除するときは、赤 を押します。
- 戻る を押すと一階層上に移動します。選択したタイトルがある場合は、階層間を移動できません。

8 決定 を押してダビングを実行します

9 「する」を選び決定します

ヒント

- ダビング予約には対応していません。
- ダビング元の機器やタイトルによっては、ダビングできない場合があります。
- つぎのタイトルはダビングできません。
  - タイトル保護が設定されている 1 回だけ録画可能のタイトル
  - 視聴年齢制限のあるタイトル
  - 写真アルバム内の写真
  - 記録時間が短いタイトルや正常に録画されなかったタイトル

スカパー！プレミアムサービスチューナーなどからダビングする

1 ダビング元の機器を LAN に接続します

2 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶設定については、28 ページ「ホームネットワークを設定する」をご覧ください。

3 ダビング元の機器のネットワーク設定を行います

ダビング元の機器の LAN 設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ダビング元の機器で本機を選択します

本機が、ダビング元の機器のダビング先になるように設定してください。設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

5 本機の電源を「入」にし、ダビング元の機器で、本機をダビング先にしたダビング操作をします

ダビング操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンとレコーダー間でダビングする

スマートフォンで撮影した動画／静止画を本機へ、または本機で録画したタイトルをスマートフォンへダビングできます。

お知らせ

- 本機に対応するスマートフォンについては、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/）でご確認ください。
- シャープ製スマートフォンをお使いの場合は、アプリケーションソフト（Smart Familink）で操作を行うことができます。対応するスマートフォンについて詳しくは、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/）でご確認ください。
- iPhone/iPad や他社製 Android 端末をお使いの場合は、パケット・ビデオ社のアプリケーションソフト「Twonky Beam」で操作を行うことができます。尚、編集した録画番組ではうまくダビングできない場合があります。「Twonky Beam」を使って iPhone/iPad で楽しむ場合、「モバイル機器用コンテンツ」フォルダの中から、番組を選んでください。アプリケーションの詳細については、「Twonky Beam」のホームページ（http://www.packetvideo.co.jp/twonkybeam/）をご確認ください。弊社は本アプリケーションに関して一切の責任を負いません。

スマートフォンのカメラで撮影した動画／静止画をレコーダーへダビングする

1 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶ 設定については、28 ページ「ホームネットワークを設定する」をご覧ください。

2 スマートフォンを LAN に接続します

この機能を利用するには、あらかじめ Wi-Fi 接続の設定がされている必要があります。設定方法はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

3 スマートフォンで本機を選択します

設定については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

4 スマートフォンで、本機をダビング先にしたダビング操作をします

本機で録画したタイトルをスマートフォンへダビングする

1 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶ 設定については、28 ページ「ホームネットワークを設定する」をご覧ください。

2 スマートフォンを LAN に接続します

この機能を利用するには、あらかじめ Wi-Fi 接続の設定がされている必要があります。設定方法はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

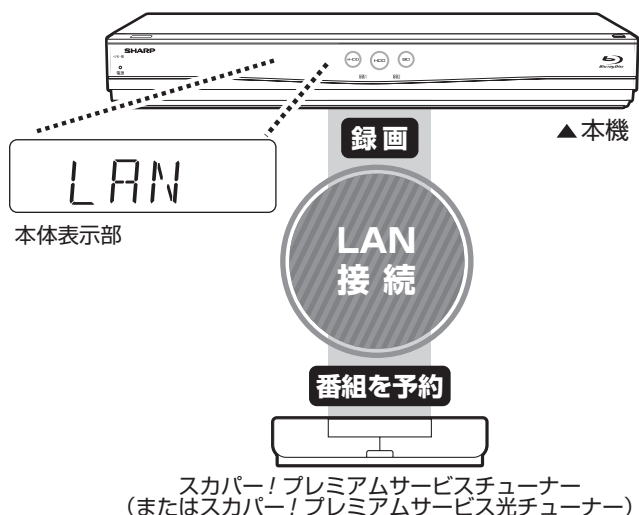
3 スマートフォンで本機を選択します

設定については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

4 スマートフォンで、本機に録画したタイトルを選び、ダビング操作をします

スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画する（「スカパー！プレミアムサービス Link」（録画））

本機とスカパー！プレミアムサービスチューナー（または、スカパー！プレミアムサービス光チューナー）を LAN（Local Area Network）に接続し、ホームネットワーク機能を利用することにより、スカパー！プレミアムサービスチューナーから内蔵 HDD に録画をすることができます。
動作確認済みのスカパー！プレミアムチューナーの機種名および操作（接続）方法については、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_skyperfectv.html）でご確認ください。

ご注意

- 本機の電源が切れていると録画予約の設定ができません。
- 本機で録画操作を行っても LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスの録画はできません。スカパー！プレミアムサービスチューナーで録画予約してください。
- 1 つの番組の連続録画可能時間は 12 時間です。12 時間を超える番組は、12 時間単位で予約設定をしてください。
- スカパー！プレミアムサービスチューナーの設定については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。

1 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶ 設定については、28 ページ「ホームネットワークを設定する」をご覧ください。

2 スカパー！プレミアムサービスチューナーを LAN に接続します

この機能を利用するには、あらかじめ LAN 接続の設定がされている必要があります。
設定方法はスカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。

3 スカパー！プレミアムサービスチューナーで本機を選択します

設定については、スカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧になり、本機がスカパー！プレミアムサービスチューナーの録画機になるように設定してください。

4 本機の電源を「入」にし、スカパー！プレミアムサービスチューナーで、本機を予約先にした録画予約を設定します

- 地上デジタル放送はスカパー！プレミアムサービスチューナーから予約録画できません。本機のチューナーで録画（予約録画）してください。
- 予約した番組は内蔵 HDD に録画されます。増設 HDD には予約録画できません。
- LAN 録画とファミリンク機能を使用した録画が重複しているときは、本体表示部はファミリンク機能を使用した録画の表示が優先されます。
- 予約リストには、予約した番組名が「LAN 予約」と表示されます。画質や予約録画延長設定などは表示されません。

予約実行可能　**/**[*]まで

LAN　　LAN予約

/[*]　午後10:00～午後11:00

	予約日時	CH	番組名	録画先	画質	繰り返し	実行
1	**/**[*]　午後10:00～午後11:00		LAN予約	HDD		毎週	○
2	**/**[*]　午前**:**～午前**:**	[地D 061]	K－5格闘技選手権	HDD	DR	毎週	○
3	**/**[*]　午後**:**～午後**:**	[地D 081]	新春、芸能人大集合	HDD	5倍		休
4	**/**[*]　午後**:**～午後**:**	[地D 051]	マニュアル浜口夫人	HDD	DR	月～金	○
5	**/**[*]　午後**:**～午前**:**	[地D 011]	ウィンブルドン2001	HDD	DR	月～金	○
6	**/**[*]　午前**:**～午前**:**	[地D 041]	俺は待ってないぜ	HDD	DR	毎週	○
7	**/**[*]　午前**:**～午後**:**	[地D 011]	大リーグ中継	HDD	5倍	毎週	○

お知らせ

- 「スカパー！プレミアムサービス Link」（録画）は、スカパー！プレミアムサービスの番組をホームネットワーク（家庭内 LAN）内に接続された機器間でデジタル録画できる機能です。スカパー！プレミアムサービス対応チューナーと「スカパー！プレミアムサービス Link」（録画）に対応した機器をネットワーク接続することで、ハイビジョン番組をハイビジョン画質のまま録画できます。
- 標準画質番組は標準画質での録画となります。
- ラジオ番組は対応しておりません。

ヒント

- 設定した予約を取り消したいときはスカパー！プレミアムサービスチューナーと本機の電源を入れた状態でスカパー！プレミアムサービスチューナーから予約を取り消してください。本機の予約リストから予約情報が自動で消去されます。予約情報が自動で消去されないときは、予約リストから削除してください。
- スカパー！プレミアムサービスを録画中は、画面表示 を押すと、画面に「● LAN 録画」と表示されます。

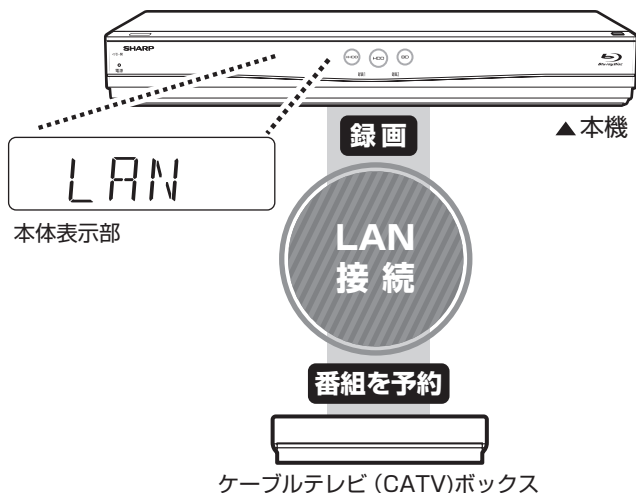
■録画できる時間

	BD-W550 BD-W550SW BD-S550 (500GB)	BD-T1500 BD-W1500 (1TB)	BD-T2500 (2TB)
スカパー！ ハイビジョン番組	約 115 時間 （約 62 ～ 144 時間）	約 233 時間 （約 126 ～ 291 時間）	約 480 時間 （約 260 ～ 600 時間）
スカパー！ 標準画質番組	約 197 時間 （約 125 ～ 380 時間）	約 398 時間 （約 252 ～ 768 時間）	約 820 時間 （約 520 ～ 1580 時間）
スカパー！3D 番組	約 72 時間	約 145 時間	約 300 時間

- 「スカパー！プレミアムサービス Link」録画可能時間の目安です。録画時間を保証するものではありません。
- 「スカパー！プレミアムサービス Link」録画可能時間は、録画する番組により異なります。
- 動きの激しい番組を録画した場合は、録画できる時間が減少します。
- 「スカパー！プレミアムサービス Link」では、本機で表示される録画時間の残時間と実際に録画できる残時間は異なる場合があります。

ケーブルテレビ（CATV）を録画する

本機とケーブルテレビ（CATV）ボックスをLAN（Local Area Network）に接続し、ホームネットワーク機能を利用することにより、ケーブルテレビ（CATV）を内蔵HDDに録画することができます。
動作確認済みのケーブルテレビ（CATV）ボックスについてはシャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_dlna_catv.html）でご確認ください。

ご注意

- 本機の電源が切れていると録画予約の設定ができません。
- 本機で録画操作を行ってもLAN録画はできません。ケーブルテレビ（CATV）ボックスで録画予約してください
- ケーブルテレビ（CATV）ボックスの設定については、ケーブルテレビ（CATV）ボックスの取扱説明書をご覧ください。

1 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶ 設定については、28ページ「ホームネットワークを設定する」をご覧ください。

2 ケーブルテレビ（CATV）ボックスをLANに接続します

この機能を利用するには、あらかじめLAN接続の設定がされている必要があります。
設定方法はケーブルテレビ（CATV）ボックスの取扱説明書をご覧ください。

3 ケーブルテレビ（CATV）ボックスで本機を選択します

設定については、ケーブルテレビ（CATV）ボックスの取扱説明書をご覧になり、本機がケーブルテレビ（CATV）ボックスの録画機になるように設定してください。

4 本機の電源を「入」にし、ケーブルテレビ（CATV）ボックスで、本機を予約先にした録画予約を設定します

- 予約した番組は内蔵 HDD に録画されます。増設 HDD には予約録画できません。
- LAN 録画とファミリンク機能を使用した録画が重複しているときは、本体表示部はファミリンク機能を使用した録画の表示が優先されます。
- 予約リストには、予約した番組名が「LAN 予約」と表示されます。画質や予約録画延長設定などは表示されません。

予約実行可能　**/**[*]まで

LAN　　ＬＡＮ予約

/[*]　午後10:00～午後11:00

	予約日時	CH		番組名	録画先	画質	繰り返し	実行
1	**/**[*]　午後10:00～午後11:00			ＬＡＮ予約	HDD		毎週	○
2	**/**[*]　午前**:**～午前**:**	[地D 061]		Ｋ－５格闘技選手権	HDD	DR	毎週	○
3	**/**[*]　午後**:**～午後**:**	[地D 081]		新春、芸能人大集合	HDD	5倍		休
4	**/**[*]　午後**:**～午後**:**	[地D 051]		マニュアル浜口夫人	HDD	DR	月～金	○
5	**/**[*]　午後**:**～午前**:**	[地D 011]		ウィンブルドン２００１	HDD	DR	月～金	○
6	**/**[*]　午前**:**～午前**:**	[地D 041]		俺は待ってないぜ	HDD	DR	毎週	○
7	**/**[*]　午前**:**～午後**:**	[地D 011]		大リーグ中継	HDD	5倍	毎週	○

ヒント

- 設定した予約を取り消したいときはケーブルテレビ（CATV）ボックスと本機の電源を入れた状態でケーブルテレビ（CATV）ボックスから予約を取り消してください。本機の予約リストから予約情報が自動で消去されます。予約情報が自動で消去されないときは、予約リストから削除してください。
- LAN 録画中は、［画面表示］を押すと、画面に「● LAN 録画」と表示されます。

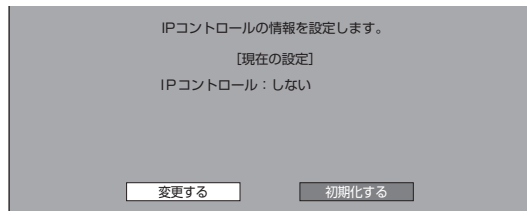
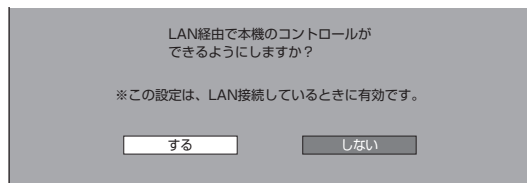
IP コントロールを設定する

IP コントロールとは、パソコンなどから LAN 経由で本機をリモートコントロールする機能です。
IP コントロール機能を使用するときは、あらかじめ LAN 接続と LAN 設定を行ってください。

1 ホーム を押し、ホーム画面を表示させます

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

2 ①「設定」を選んで決定します
②「通信機能設定」－「IP コントロール設定」を選んで決定します

3「変更する」を選んで決定します

4「する」を選んで決定します

5 必要な情報を入力します

各項目はソフトウェアキーボードを使って入力します。入力方法については、本機に同梱されている取扱説明書 (→134 ページ) をご覧ください。

- [機器名]
  内容：本機の名称を英数字で入力します（最大 12 文字)。お好みの名前に変更できます。ターミナルソフトなどを使い接続する際に必要となる場合があります。
  初期値：AQUOS　BD
- [ログイン ID]
  内容：本機にアクセスするときのログイン ID を英数字（最大 8 文字）で入力します。ターミナルソフトなどで接続する際に必要となります。
  初期値：－
- [パスワード]
  内容：本機にアクセスするときのパスワードを英数字（最大 8 文字）で入力します。ターミナルソフトなどで接続する際に必要となります。
  初期値：－
- [ポート番号]
  内容：使用するポート番号を入力します。1025 ～ 65535 の範囲で設定できます。ターミナルソフトなどに入力する値を設定してください。
  初期値：10002

6 「完了」で決定します

IP コントロール情報を初期化したいときは、
(1) 手順 3 で「初期化する」を選びを 決定 を押します。
(2)「する」を選んで 決定 を押します。IP コントロール情報が初期化されます。

7 終了 を押して設定を終了します

お知らせ

• IP コントロールを利用してできることについては、以下の説明をお読みください。
▶ 42 ページ「パソコンからコントロールする」
▶ 43 ページ「スマートフォンからコントロールする（ボイスリモコン)」

パソコンからコントロールする

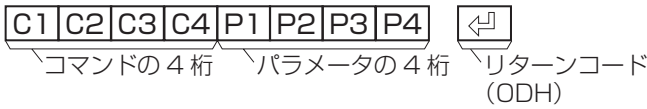
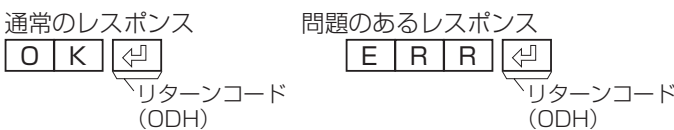
パソコンのターミナルソフトで本機に制御コマンドを送信し、本機をコントロールすることができます。IP コントロールの設定については、40 ページ「IP コントロールを設定する」をご覧ください。

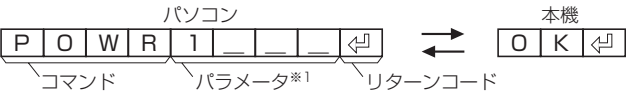
ご注意

- 複数のコマンドを連続して送信しないでください。連続してコマンドを送る場合は、本機からのレスポンスコードを受信してから、次のコマンドを送ってください。

■通信のしかた

パソコンから LAN ケーブルを通じてコマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。
本機がコマンドを処理すると、パソコンにレスポンスコードを送ります。

- コマンド（パソコンから本機へ）

- レスポンス（本機からパソコンへ）

■コマンド一覧

例：本機の電源を入れる場合

機能	コマンド				パラメータ※1			
電源入※2	P	O	W	R	1	_	_	_
電源切	P	O	W	R	0	_	_	_
再生	D	P	L	Y	_	_	_	_
停止	D	S	T	P	_	_	_	_
早送り	D	F	W	D	_	_	_	_
早戻し	D	R	E	V	_	_	_	_
頭出し（前）	D	S	K	B	_	_	_	_
頭出し（後）	D	S	K	F	_	_	_	_
一時停止	D	P	U	S	_	_	_	_

※ 1 パラメータの「_」はスペースを入力します。
※ 2「電源入」はクイック起動待機状態のときに受け付けます。

スマートフォンからコントロールする（ボイスリモコン）

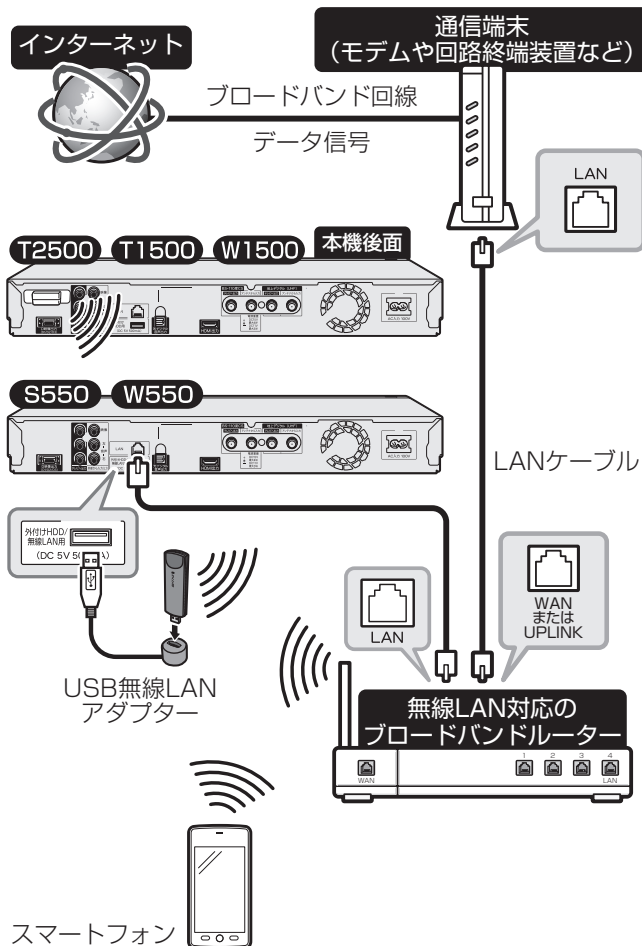
スマートフォンから本機をコントロールすることができます。
スマートフォンでコントロールするには、新たにアプリケーションソフト「レコーダー IP コントロール」をインストールする必要があります。アプリケーションソフトについて詳しくは、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/info/voice_remo_con.html）でご確認ください。

■コマンド送信でコントロールする

スマートフォンから制御コマンドを送信し、本機をコントロールすることができます。
▶ 40 ページ「IP コントロールを設定する」

■音声入力でコントロールする（ボイスリモコン）

スマートフォンに音声を入力することにより、本機をコントロールすることができます。

▼接続例

※回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。
※スマートフォンはブロードバンドルーター経由でインターネットに接続してください。

スマートフォンで予約する（リモート予約）

リモート予約とは、スマートフォンから予約する機能です。予約し忘れた番組などを外出先からでも予約できます。
スマートフォンからリモート予約するには、新たにアプリケーションソフト「AQUOS リモート予約」をインストールする必要があります。アプリケーションソフトについて詳しくは、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/）でご確認ください。

お知らせ

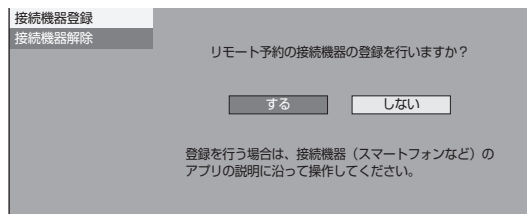
- 本機の動作状態やネットワーク環境、リモート予約サーバーの状態によっては予約録画されない場合があります。
- 本機が番組表データを取得できていない場合や、予約情報を取得できていない場合は予約録画されません。
- 番組開始直前にリモート予約した場合は予約録画されない場合があります。

リモート予約設定する

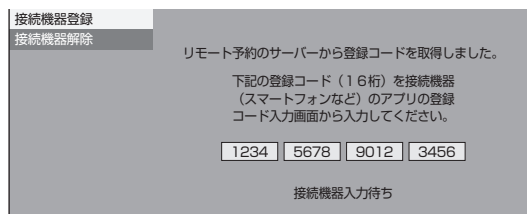
1 ホーム を押し、ホーム画面を表示させます

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

2 ①「設定」を選んで決定します ②「通信機能設定」－「リモート予約設定」を選んで決定します

3 「接続機器登録」を選んで決定します

4 「する」を選んで決定します

リモート予約サーバーから「登録コード」を受信します。

画面の登録コードは表示例です。

5 スマートフォンのアプリケーションソフトを立ち上げ、登録画面で「登録名」と「登録コード」を入力します

画面の登録コードは表示例です。

6 スマートフォンの登録が完了すると本機に確認画面が表示されます。「OK」で決定します

最大 10 台まで登録できます。
スマートフォンの登録が完了しないとリモート予約は行えません。

お知らせ

- 接続機器登録が完了すると、本機の「クイック起動設定」が「する（常時）」に設定されます。
  ▶ 51 ページ「一発（クイック）起動を設定する」
- スマートフォンから予約設定するときは、本機の電源を「入」にしてください。「クイック起動設定」が「する（常時）」に設定されているときは、本機の電源を切った状態でもスマートフォンから予約設定が行えます。

登録したスマートフォンを解除する

1 ホーム を押し、ホーム画面を表示させます

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

2 ①「設定」を選んで決定します ②「通信機能設定」－「リモート予約設定」を選んで決定します

3 「接続機器解除」を選んで決定します

4 登録解除したいスマートフォンを選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

登録解除が完了すると手順 3 の画面に戻ります。

5. ソフトウェアを更新する

USB メモリーを使用してソフトウェアを更新する

地上デジタル放送および BS デジタル放送を受信していないときや、CATV など外部チューナーを経由して放送を受信しているときなど、放送の電波を通してソフトウェアの更新ができない場合は、USB メモリーを使用してソフトウェアの更新が行えます。
ソフトウェアの更新を行う際は、予め更新用ソフトウェアをパソコンを使用して USB メモリーに書き込んでおく必要があります。

■ソフトウェアの更新情報について

ソフトウェアの更新情報は、パソコンを使用してシャープホームページ内のサポートステーションでご確認ください。【シャープサポートステーション⇒ http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/】
更新用ソフトウェアが公開されているときは、パソコンにダウンロードした後、USB メモリーにコピーしてください。

重 要

- データの更新中は、USB メモリーを取り外さないでください。
- データの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

お知らせ

- ソフトウェアの更新をしようとしたとき、30 分以内に予約が設定されている場合は更新できません。予約終了後に更新を行ってください。

1 **本体前面のデータ送受信端子に、更新用ソフトウェアを書き込んだ USB メモリーを取り付けます**

更新用ソフトウェアをパソコンから書き込むときは、空の状態で書き込んでください。

2 **ホーム を押し、ホーム画面を表示させます**

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

3 **①「設定」を選んで決定します**
②「初期化・更新」－「ソフトウェアの更新」を選んで決定します

4 暗証番号を設定しているときは、1 ～ 10 で暗証番号を入力します

暗証番号の設定については、本機に同梱されている取扱説明書（→ 226 ページ）をご覧ください。

5 「USB メモリー」を選んで決定します

6 「確認」で決定します

USBメモリーを使って本機ソフトウェアを更新できます。
ソフトウェアの更新情報については、パソコンを使って
弊社サポートステーション http://www.sharp.co.jp/support/ へアクセスし、
更新用ソフトウェアの有無を確認してください。
更新用ソフトウェアが公開されているときは、パソコンにダウンロード
してから市販のUSBメモリーにコピーしてください。
その後、本体前面のデータ送受信端子にUSBメモリーを差し込み、
ソフトウェアの更新を行ってください。
確認

本機のソフトウェアの現在のバージョンと USB メモリーに入っている更新データのバージョンとが表示されます。更新データで本機のソフトウェアを更新するには、「開始する」を選んで決定します。

USBメモリー内に更新用ソフトウェアのファイルが
見つかりました。ソフトウェアの更新を開始しますか?
現在 ： XXXXXXXXX
更新後 ： XXXXXXXXX
開始する 開始しない

●ソフトウェアの更新ができないときは

USB メモリーが正しく取り付けられていないときや、正しい更新データが USB メモリーの中にみつからないときは、エラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージの表示例

更新用ソフトウェアのデータが書き込まれている USB メモリーを取り付けてから、ソフトウェアの更新を行ってください。

7 ソフトウェアの更新が完了したら「確認」で決定します

アップデートを行っています。
しばらくこのままでお待ちください。

アップデートが完了しました。
一旦電源を切にしてからご使用ください。

ソフトウェアの更新に失敗した場合は、USB メモリーのデータを確認し、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。

8 USB メモリーを本機から取り外します

9 電源 を押して本機の電源を切ります

お知らせ

- 電源を切った後、電源を入れ、再び電源を切ったときは、ソフトウェアの更新が完了するまで下記の画面が表示され、電源が切れない場合があります。電源が切れるまでお待ちください。

電源を「切」にします。
しばらくお待ちください。
アップデート後のプログラム処理のため、
電源が「切」になるまで時間がかかることが
あります。

ネットワークサーバーからソフトウェアを更新する

本機をインターネットに接続しているときは、最新のソフトウェアをネットワークサーバーからダウンロードし更新が行えます。

■ソフトウェアの更新情報について

ソフトウェアの更新情報は、パソコンを使用してシャープホームページ内のサポートステーションでご確認ください。【シャープサポートステーション⇒ http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/】

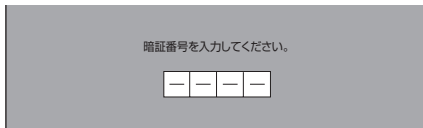
重 要

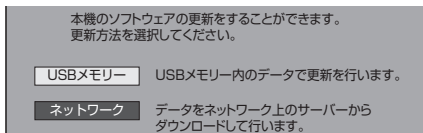
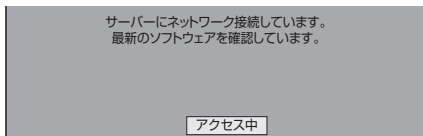
- データの更新中は、更新が完了するまで他の操作は行わないでください。
- データの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

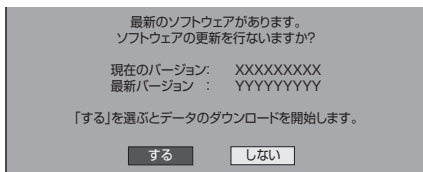
1 ホーム を押し、ホーム画面を表示させます

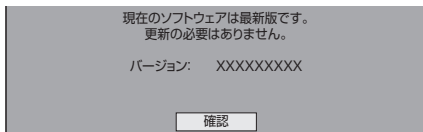
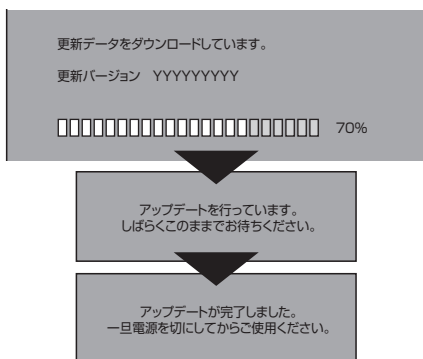
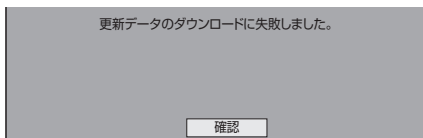
▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

2 ①「設定」を選んで決定します
②「初期化・更新」－「ソフトウェアの更新」を選んで決定します

3 暗証番号を設定しているときは、1 ～ 10 で暗証番号を入力します

暗証番号の設定については、本機に同梱されている取扱説明書（→ 226 ページ）をご覧ください。

4 「ネットワーク」を選んで決定します

ネットワークサーバーへアクセスし最新のソフトウェアを確認します。

最新のソフトウェアがあるときは、更新のための画面が表示されます。「する」を選んで決定します。

5 「する」を選んで決定します

●最新のソフトウェアがないときは

メッセージ画面が表示されます。「確認」で決定します。放送画面に戻ります。

6 更新データをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います

ソフトウェアのダウンロードに失敗した場合は、メッセージ画面が表示されます。「確認」で決定します。手順 5 で表示される画面に戻りますのでもう一度ソフトウェアの更新を行ってください。

7 電源 を押し、本機の電源を切ります

お知らせ

- 電源を切った後、電源を入れ、再び電源を切ったときは、ソフトウェアの更新が完了するまで下記の画面が表示され、電源が切れない場合があります。電源が切れるまでお待ちください。

電源を「切」にします。
しばらくお待ちください。
アップデート後のプログラム処理のため、
電源が「切」になるまで時間がかかることが
あります。

一発（クイック）起動を設定する

待機状態からおもなボタンを押すだけで、すぐに起動するように設定できます。

ご注意

- 電源プラグを抜くときは、一発（クイック）起動を「しない」に設定してください。
- 一発（クイック）起動の待機中は本体内部の回路がはたらいているため、後面の冷却ファンが回転するなどして、通常の待機（電源切）状態より消費電力が増加します。
- ダウンロードサービス時は開始５分前になると一時的に一発（クイック）起動が解除され、すぐに電源が入らない場合があります。
- クイック起動を「する」に設定すると、「しない」ときにくらべて待機時の消費電力が大きくなります。「する（時間指定）」の場合は、指定した時間帯以外で「しない」と同じ消費電力になります。

お知らせ

- 工場出荷時は一発（クイック）起動は「しない」に設定されています。
- 録画や再生操作は、一発（クイック）起動はできません。電源を入れてから操作してください。
- リモート予約設定で接続機器登録を行った場合は、一発（クイック）起動が自動的に「する（常時）」に設定されます。
- 接続するモニターや端子によっては一発（クイック）起動に多少時間がかかる場合があります。
- エコモード時は一発（クイック）起動は働きません。

1 ホーム を押し、ホーム画面を表示させます

▶５ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

2 ①「設定」を選んで決定します
②「本体設定」－「クイック起動設定」を選んで決定します

3 クイック起動を設定します

する（常時）・・常に高速で起動できる状態にします。

する（時間指定）・・時間を指定して高速に起動できる状態にします。

しない

- [する（常時）]
  電源が切れている状態から、「電源を入れる」「電子番組表を表示させる」「ホーム画面を表示させる」「録画リストを表示させる」などの操作がすぐに行えます。また、電源が入ったあと「録画」「再生」の操作がすぐに行えます。
- [する（時間指定）]
  「する（常時）」と同じ操作が行える時間帯を 3 つまで設定できます。指定した時間帯以外は、待機時の消費電力を抑えるため「しない」と同じ状態で待機します。
- [しない]
  一発（クイック）起動しません。

4 終了 を押して設定を終了します

待機状態（電源切）で 電源 番組表/予約 ホーム 録画リスト/トップメニュー 予約 （ふた内）のいずれかを押すと、すぐに操作ができるようになります。

ヒント

- クイック起動を「する」に設定したときは、待機消費電力が増加します。
- クイック起動を「する（常時）」に設定しておくと、本機の電源を「切」にしていてもホームネットワーク機能を使って、DLNA（動画再生）対応のシャープ製液晶テレビ「アクオス」から本機の再生操作が行えます。
  ▶ 29 ページ「別の部屋にある機器で本機のハードディスク内の番組や静止画を見る」
- クイック起動を「する（常時）」に設定しておくと、本機の電源を「切」にしていてもスマートフォンからリモート予約が行えます。
  ▶ 44 ページ「スマートフォンで予約する (リモート予約)」
- 携帯用動画の自動転送を行う場合は、クイック起動設定を「する（常時）」に設定してください。

LAN 通信を制限する

デジタル放送の双方向サービスの LAN 接続、アクトビラ／ TSUTAYA TV へのインターネット接続をそれぞれ制限することができます。

1 ホーム を押し、ホームメニューを表示させます

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

2 「設定」を選んで決定します

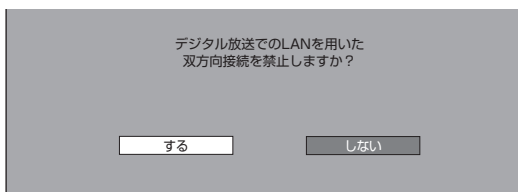
3 「通信機能設定」を選んで「デジタル放送接続制限」または「インターネット接続制限」を選んで決定します

- デジタル放送接続制限
  デジタル放送の双方向サービスの接続の制限
- インターネット接続制限
  アクトビラ／ TSUTAYA TVへの接続の制限

4 4 桁の暗証番号を、1 ～ 10 を押して入力します

暗証番号については、本機に同梱されている取扱説明書（→ 226 ページ）をご覧ください。

5 「する」を選んで決定します

例：デジタル放送接続制限の場合

6 終了 を押して設定を終了します

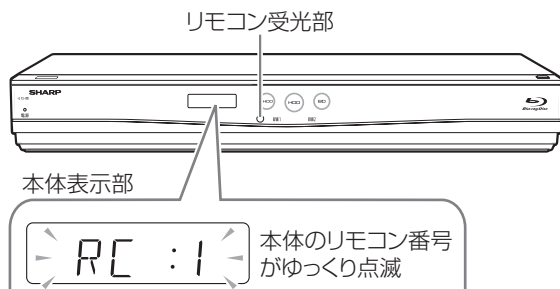
個人情報を初期化する

本機には、放送局とデータの送受信をするために入力した、お客様の個人情報が記憶されています。
クッキー（Cookie）を削除するには、個人情報の初期化を行い、情報を消去してください。録画したタイトルは消去されません。

ご注意

- 個人情報初期化を行うと、設定が工場出荷時の状態に戻り、自動的に本機の電源が切れます。
- 外付け HDD 使用時、「全ての情報を消去」を選ぶと、外付け HDD に記録したタイトルは再生できなくなります。
- SHDD※（スロットインハードディスク）の情報を初期化（登録解除）したいときは、「ホーム」－「設定」－「ディスク管理」－「SHDD」で行ってください。
  ※対象機種：BD-T2500 ／ T1500

お知らせ

- 個人情報初期化を行うと、リモコン番号は 1 に戻ります。
- リモコンで操作したとき本体表示部に「RC:1」、「RC:2」、「RC:3」の表示が点滅する場合は、本体側とリモコン側でリモコン番号が違っています。

- リモコンで操作できるようにするには、本体表示部に表示されている数字のリモコン数字ボタンを押しながら、決定ボタンを 6 秒以上押し続け、本体側とリモコン側のリモコン番号を合わせます。

1 ホーム を押し、ホームメニューを表示させます

▶ 5 ページ「ホーム画面（ビジュアルホームメニュー）表示時の操作方法」をご覧ください。

2 ①「設定」を選んで決定します
②「初期化・更新」－「個人情報初期化」を選んで決定します

3 「個人情報初期化」を選んで決定します

4 「全ての情報を消去」または「外付け HDD 情報を残して消去」を選んで決定します

5 終了 を押して設定を終了します

シャープはエコポジティブ。

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 低消費電力／省スペース

エコモード搭載により、待機時の省電力化を実現しました。

グリーン材料 すべての基板に無鉛ハンダを使用

使用している基板すべてに鉛を含まないハンダを採用しています。
環境に配慮したグリーン材料設計です。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎自動的に電源を切る設定を!

① 電源が入ったままの状態で、約 3 時間何も操作されないと自動的に電源をオフする機能を採用しています。
② 予約録画中に追いかけ再生や別タイトルの再生を行った場合、操作後に電源ボタンを1回押してください。
予約録画実行後に自動的に電源を切ることができますので、効率的な省エネになります。

製品登録のお願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉でご愛用製品の登録をお願いいたします。（登録無料）

http://iclub.sharp.co.jp/m/

スマートフォンや携帯電話はこちらから

お問い合わせ先

お問合わせの前にもう一度「故障かな?と思ったら」（本機に付属の取扱説明書）をご確認ください。

スマートフォンからでもご利用いただけます

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス。しっかりアシスト!

SHARP オンラインサポート

http://www.sharp.co.jp/support/

●お客様ご相談窓口

固定電話・PHSからはフリーダイヤル **0120-001-251**

携帯電話からはナビダイヤル **0570-550-113**

〈受付時間〉(年末年始を除く)
○月曜日～土曜日：午前9時～午後6時
○日曜日・祝日：午前9時～午後5時

※フリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、043-331-1626

※非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。詳しくは、本機に付属の取扱説明書をご覧ください

■取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてのご注意 （QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）
●当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。
●スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。
アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負うものではありません。
●当社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

シャープ株式会社
本　社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
デジタル情報家電事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地

13P12-SO-01